

横浜のナイトタイムの活性化をバックアップ メッセージブック『横浜みなと未来ぴあ』(フリーペーパー)を発行 ～横浜のキーマンや新規施設開発担当者が語る“横浜の近未来”とは？～

ぴあ株式会社(所在地:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢内廣、以下ぴあ)は、横浜市文化観光局のご後援のもと、ナイトタイムの活性化を目指す横浜の近未来をテーマとしたメッセージブック『横浜みなと未来ぴあ』を企画・編集し、フリーペーパーとして発行いたしました。

2019年から2023年にかけて、大型開発や複数のライブホール開業などで人の流れが変わり、これまでとは違う楽しみ方や魅力が生まれる「横浜ハーバーエリア」。国内屈指の夜景の名所でもあり、立地的にもインバウンド客増などの恩恵も期待されているにも関わらず、「お店が閉まるのは早くて、夜の横浜を楽しめる場所が少ない」ということが課題となっています。



ナイトタイムエコノミーの対応が遅れているという、この現状を変えていくには、横浜ハーバーエリア全体で取り組んでいくことが必要であるという趣旨を多くの方々にご理解いただきたく、地元横浜の企業、関連団体の方々にご協力いただきながら、本誌を企画・編集いたしました。新規施設の開発担当者による取り組みの紹介や、横浜のキーマンに聞いたナイトタイム活性化構想などのメッセージを中心に、横浜の近未来を描いたオリジナルMAPやナイトタイムを満喫できるイベントカレンダー、ナイトタイム体感クーポンなどの最新情報も満載です。このメッセージブックを通して、横浜に関わる多くの皆様に共感いただき、行政や民間企業・団体との連携の輪を広げていきたいと考えています。



2020年春完成予定のぴあアリーナ MM

ぴあは、2020年春開業を目指し、みなとみらいに1万人収容の音楽コンサートホール「ぴあアリーナ MM」を建設中です。未来の横浜を描くメンバーの一員として、またエンタテインメントを多くの方々に届ける任務を担う企業として、「ナイトタイムの活性化」という重要課題に真摯に取り組み、大きく変貌する“横浜みなと未来”の一助となつてまいる所存です。

【横浜近未来メッセージブック『横浜みなと未来ぴあ』 編集内容】

- ◆表紙&インタビュー： クリスタル ケイ（横浜生まれ）
- ◆巻 頭： 横浜ハーバーエリア近未来 MAP
- ◆特集 1： 人の流れが変わる！「注目の新規開発 施設詳細&地域連携」
新規施設開発担当者が語る！ 横浜ハンマーヘッド、資生堂グローバルイノベーションセンター S/PARK、神奈川大学みなとみらいキャンパス、ぴあアリーナ MM。
そのほか、K アリーナ、ビルボードライブ横浜、横浜市新市庁舎、パシフィコ横浜ノースなど、多数の新規施設を紹介
- ◆特集 2： 横浜の官民のキーマンにインタビュー
「ナイトタイム活性化構想&横浜ハーバーエリア TOPIC」
- ◆特集 3： 横浜ハーバーエリアのナイトタイムを満喫できる年間イベント
- ◆企 画： SDGs 未来都市・横浜 ～新名所の環境への取り組みから、ローカル&エコな食まで
- ◆特 典： 横浜ハーバーエリア・ナイトタイム体感クーポン付き

なお、巻頭の「横浜ハーバーエリア近未来 MAP」は、位置情報と連動したオンライン MAP としてスマホでも楽しむことができます。右の QR コードから、横浜ハーバーエリアの近未来を体感してください。



【『横浜みなと未来ぴあ』(フリーペーパー) 概要】

発 行： ぴあ株式会社

後 援： 横浜市文化観光局

協 力： 横浜高速鉄道、東急電鉄、横浜港振興協会

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー「平成 30 年度 横浜観光プロモーション認定事業」

配布時期： 2019 年 3 月 29 日頃より順次配布

発行部数： 40,000 部(無料設置配布) ※一部大学での配布分を含む

設置場所： 横浜高速鉄道みなとみらい線各駅

(横浜駅・新高島駅、みなとみらい駅、馬車道駅、日本大通り駅、元町・中華街駅)
東急線主要駅、横浜観光案内所(横浜駅、桜木町駅、新横浜駅)、パシフィコ横浜、シーバス乗り場(横浜駅東口、みなとみらい、赤レンガ、山下公園) ほか

体 裁： A4、中綴じ、オールカラー 56 ページ



[本件に関するお問い合わせ]

『横浜みなと未来ぴあ』に関するお問い合わせ：

メディア・プロデュース事業局 編集部 03-5774-5267 (平日 10:00~18:00)

マスコミ・報道関係のご取材： ぴあ株式会社 広報室 大木、栗田、糸井

TEL: 03-5774-5294 E-mail: koho@pia.co.jp